



日本語教師養成講座

生かせ日本人スキル



日本語教師とは…？

日本語教師とは、

日本語を母国語としない人に日本語を教える仕事です。

日本語教師を目指す人、日本語教師として活躍している人のバックグラウンドや動機は様々です。

学生の頃から日本語教師を目指し、夢と希望に溢れている若者。

子育てがひと段落し、地域の支援活動を経て資格を取得しようと奮い立った主婦。

定年を迎え、第二の人生を考えたときに日本語教師という仕事に出会った元サラリーマン。

きっかけは十人十色でも、目指すところは同じです。

“日本語を母語としない人に日本語を教える”

日本人なら無条件に外国人に日本語を教えることができるでしょう。でも、日本人は無意識に日本語を使っています。外国人にはどうしてそれがそうなるのか、よくわからないことがたくさんあるのです。

そこで、日本語や日本語の習慣を体系的に、コミュニカティブに教えられるスキルがあると、外国人学習者にとって吸収力も高く、学習意欲も持続しやすくなります。



日本語教師の資格

日本語教師には、小・中・高校の教師のような国家試験はありません。

文部科学省が示している「日本語教育施設のガイドライン」の中の「日本語教育施設の教員資格」に定められている以下のいずれかに該当することが、日本語学校などの採用基準となっていることが多いです。

①大学で主専攻または副専攻で日本語教育に関する一定の単位を取得した者

大学での専攻ですから、学位として与えられることが特長です。すぐに現場に出て働くというよりは、より深い日本語の知識を身につけ、学問として日本語を学ぶことを重視している人にはおすすめです。

②「日本語教育能力検定試験」合格者

日本語教育能力検定試験は、日本語教師としての知識や理論が基礎的水準に達しているかどうかを検定する試験です。国家試験や公的試験ではありませんが、これに合格すると、日本語教育の「有資格者」とみなされます。毎年年1回、10月下旬に行われ、合格率は20%前後と狭き門となっています。

③日本語教師養成講座420時間終了者

修了と同時に日本語教師の資格を得られることが最大の魅力。また、実際の教壇で指導できる力を養う講座なので、実践的なスキルを身につけることができます。多くの日本語学校が、就職採用試験時に模擬授業の披露を課することが多いですから、その対策にもなりえます。また420時間の中では日本語文法や言語学・異文化理解に関する理論の講義を兼ね備えている講座がほとんどですので、総合的な日本語教師としての力が養われます。



資格取得選びのポイント

●どんな日本語教師になりたいのか？

学習者にバリバリ練習させて、今日からネイティブとしゃべっておいで！というタイプ

→ 実践経験を積めるもの： ③日本語教師養成講座420時間

いやいや、論理的に文法しっかりと学習しないと。というタイプ

→ 文法や理論を積み上げられるもの： ①大学で主専攻・または副専攻

●将来どこで教えたいのか？

日本！現地での日本語学習こそ上達の道！

→ 直接法の指導がしっかり身につくもの： ③日本語教師養成講座420時間

海外！学習者数も多いし！

→ 直接法と間接法を両方学べるもの： ③日本語教師養成講座420時間

●ライフスタイルと相談

仕事が忙しい、仕事を続けながら資格をとりたい

→ 週に何日か通えば良いもの、自分のペースで進められるもの：

②日本語教育能力検定試験 / ③日本語教師養成講座420時間(通信)

資格を取ることに集中したい

→ 短期種中型、ほぼ毎日授業があるもの： ③日本語教師養成講座420時間(通学)

420 時間日本語教師養成講座

実践重視の模擬授業

事前にレッスンプランを立て、実際の授業のように模擬授業をしていきます。毎日のように行われるので、準備は大変ですが、実践経験を多く積むことができ、日本語教師としての即戦力が養われます。模擬授業の後にはディスカッションを行って、良い点や改善点をクラスメイトや講師とともに話し合い、さらなるステップアップにつなげます。また、自分以外の模擬授業を見ることで、鋭い観察力を身につけます。

先輩後輩が混在

受講生同士が先輩と後輩になることによって、後輩は先輩の模擬授業を見学し、参考にすることができたり、先輩は後輩に指導することによって自分の知識や技術の確認ができたりします。このシステムはお互いを刺激し合うとともに、実際の日本語学校の現場での予行演習にもなっているのです。

異文化の環境・体験

オーストラリアは移民の国なので、必然的に世界の様々な国から来た人と接し、異文化・多文化の学習者に教える機会を持つことができます。日本では味わえない、海外の教育現場を体験し、実際の異文化の教室に飛び込む準備をします。

BBIC だけ！

日本語を専門とする会社が運営する講座

BBIC は長くオーストラリアで日本語教師派遣プログラムを運営しています。したがって、日本に限らず、世界中の日本語教育機関とのつながりがあり、講座修了後は早速日本語教師として働くチャンスがあるのです。



● 講座費用

\$ 4,500

(消費税、入学金、教材費、管理費、授業料込み)

● 講座期間

全11週間(420 時間)

毎週月～金曜日 9:30～16:30/1日6時間授業

(上記は通常授業の場合、変更になる日もあり)

● 開講日 2016 年度

1 月 11 日～4 月 1 日 (2 月 15 日～2 月 19 日休校)

2 月 22 日～5 月 6 日

4 月 4 日～6 月 24 日 (5 月 9 日～5 月 13 日休校)

5 月 16 日～7 月 29 日

6 月 27 日～9 月 16 日(8 月1日～8 月5日休校)

8 月 8 日～10 月 21 日

9 月 19 日～12 月 9 日(10 月24日～10 月28日休校)

11 月 1 日～2017 年 2 月 10 日

(12 月 10 日～2017 年1月8日休校)



体験談 田口望さん

個人の性格や特技を把握してそれを日本語教育に活かせる方法を導いてくださる人情あふれる先生方と、励ましあうクラスメイトたちのおかげで、最後までノンストップで踏ん張ることが出来ました。卒業時に先生方から頂いた、あたたかい言葉、とても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

外国人学習者に授業をする！

週に約1回、外国人学習者に実際に授業を行います。

自分が担当するのは1回 20 分前後ですが、普段、クラスメイトや先生を相手に行うデモとはまた違った緊張感があります。

学習者は国際色豊かで、オーストラリア生まれのアジア系移民や、妙に居酒屋に詳しい欧米系など、オーストラリアならではの多文化環境を味わえます。

授業はもちろん、養成講座講師の先生にアドバイスをもらいながら進めていきます。

ここがイイ！



11 週間でしっかり集中学習！

日本で、通学で資格を取ろうと思ったら、通常1年前後を要する養成講座がほとんどです。ゆっくり学べるというメリットはあるものの、仕事のかたわら、子育てのかたわら、学業のかたわら、さまざまな弊害のリスクが伴うことも事実です。

BBIC は 11 週間の短期集中。

文化庁のガイドラインに沿った理論をきっちり、初級の文法をしっかりと、模擬実習ををたっぷり。

人生の中でもかなり濃い3ヶ月になることは間違いありません！



●ある受講生の1日●



07:30	起床	朝ごはん
09:30	文法 【受身】	ちょっと早く行って、デモの最終確認 難しかった… 先生にわからないところを質問しまくり
12:00	昼休み	同期と外でお弁当、リフレッシュ♪
13:00	デモ 「～しようと思います」	評価7/10もらった！
15:00	理論 【言語学】	言葉って深いな。。
16:30		自習していこうかな、教室の方が集中できるし
19:00	帰宅	晩ごはん リラックス
22:00		文法と理論を復習しておこう
23:00	就寝	

資格を取った、その後

-10期生の場合-

養成講座修了後

海外で日本語教師



和田憲治さん [ベトナムの大学\(日本語プログラム\)](#)

受講中は、得意のエンターテインメントを生かして、楽しい授業を心がけた。

講座修了後、すぐにベトナムに渡り、とある大学が日本語教師を募集していると聞きつけ応募、即採用。

日本語のクラスだけでなく、教材の開発にも携わっている。



養成講座修了後

日本で日本語教師

村松咲紀さん [日本の日本語学校](#)

受講中から、しっかりとした授業の組み立てをし、練習をたくさん取り入れた模擬授業に定評があった。

講座修了後、日本に帰国。すぐに日本語学校に応募し、見事採用。

最初は初級と中級のクラスを3コマのみだったが、すぐに能力を買われ、初中級のクラスを追加し、計9コマのクラスを受け持っている。



養成講座修了後

アシスタントで経験

本郷香織さん [オーストラリアの中・高校で日本語教師アシスタント](#)

受講中は、模擬授業が上手いかず悩んだこともあったが、すでにアシスタントをすることが決まっていたので、奮起して最後は「先生」になっていた。

講座修了後、経験を積むため、海外の教育現場を見るため、オーストラリアの中・高校でアシスタントとして2学期間活躍。

養成講座で学んだことを生かして、アイデアあふれる教材作りや先生のお手伝い、生徒との会話の練習・作文の添削など、大忙しの毎日を送る。



日本語教育の需要は？

日本語教育事情

日本語学習者の数は、一体どのくらいいるのでしょうか。

国際交流基金の2012年度の統計によると、

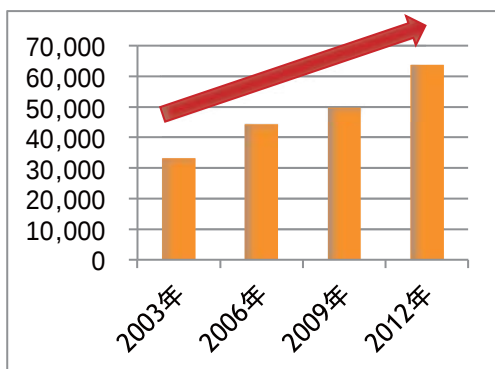
日本国内における日本語学習者の数は、およそ14万人。

日本国外の日本語学習者の数は、およそ400万人。

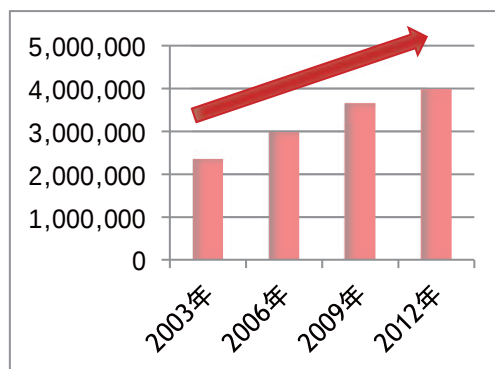
その数は年々、増加傾向にあります。

これは、漫画やアニメなどからの興味はもちろんのこと、東南アジア諸国との貿易協定、2020年東京オリンピック開催決定による労働力の必要性が主な要因とみられています。

これに伴い、日本語教師の需要も増えてきているのです。



海外における日本語教師数の推移



海外における日本語学習者数の推移

(国際交流基金「海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査」より)

★ミニ日本語クイズ★

- ① 日本国外の日本語学習者数第1位の国は？
- ② 日本語学習の目的で、最も多い理由は？
- ③ 近年、日本語学習者・教師・教育機関・すべての増加率が著しい国は？

BBI College

Japanese Language

日本語教師養成講座

Suit 3.03 39 Liverpool Street, Sydney, 2000

Tel: 02-9264-8803

Email: info@bbicollege.com

HP: japaneselanguage.bbicollege.com